

平成27年9月30日
子育て支援部子ども家庭課

【9月議会追加補正予算案件】

子育てコンシェルジュも配置 全支所地域に「子育ての駅」を整備します

子育ての駅は、長岡地域に3カ所と栃尾地域に1カ所に開設しており、年間約27万人が利用していて、今まで延べ約189万人の方からお出でいただいています(利用実績は別紙)。

このたび、支所地域の子育て支援体制を強化するため、各地域に設置している子育て支援センターの機能を拡充して、地域版「子育ての駅」として新たにスタートさせます。

これまで「子育ての駅」で培った高校生や高齢者など多世代が関わる子育て支援の輪を全市域に展開し、「市民みんなで子育てするまち長岡」をさらに一步前へ進めます。

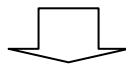
さらに、全市的な取り組みとしてスマートフォンなどでも見やすい情報発信、タニタと連携したメニュー開発など子育て支援の充実を図ります。

1 今回のコンセプト

「子育ての駅」のコンセプト

- ・雨の日も雪の日ものびのび遊べる「遊びの場」
- ・保育士や子育てコンシェルジュがいて気軽に相談できる「相談の場」
- ・中高生から高齢者までが子育てに関わる「交流の場」

支所地域への設置ニーズも高い「子育ての駅」を地域展開することで、より身近で地域一体となった子育て支援の輪を広げたい。



市民やNPOと一体となって、全支所地域で「子育ての駅」を展開

2 地域版「子育ての駅」の概要

○開設時期

- ・平成28年1月(和島、与板、川口地域は4月)

○開設場所

- ・保育園に併設している子育て支援センター等を活用します(山古志地域は山古志体育館、和島地域は和島保健センター、与板地域は与板幼稚園で実施)。

○子育てコンシェルジュの配置

- ・それぞれの地域で子育てに熱意を持っている方を任用し、一人ひとりに寄り添った相談、情報提供や関係機関につなぐ支援を行います。

栃尾地域の子育ての駅「すくすく」(平成24年度開設)にも配置します。

○市民力・地域力を活かした運営

- ・生活文化や自然、歴史など地域特性を活かしながら世代間地域間の交流を進め、地域全体で子育てを支え合う体制をつくります。
- ・三島、山古志、与板地域は、地元のNPOや社会福祉法人のノウハウを活かした運営委託を行います。

裏面に続く

3 開設場所・時期等

地域	開設場所	開設時期	運営	備考
中之島	みずほ保育園	1月	直営	現在の建物を改修
越路	こしじ保育園	1月	直営	現在の建物を改修
三島	みしま中央保育園（私立）	1月	委託	現在の建物を改修 委託先「社会福祉法人はなみずき福祉会」
山古志	山古志体育館	1月	委託	委託先「総合型クラブY-GETS」
小国	ひまわり保育園	1月	直営	現在の建物を改修
和島	和島保健センター	4月	直営	現在の和島保育園から移設、開設
寺泊	おおこうづ保育園	1月	直営	現在の建物を改修
与板	与板幼稚園	4月	委託	委託先「社会福祉法人光寿福祉会」
川口	子育て支援センター川口すこやか	4月	直営	現在の建物を改修

4 タイムリーな子育て情報の発信

主に妊娠期から就学前までの子育て情報を、今まで以上に分かりやすく、タイムリーに届けるため、スマートフォンやタブレット端末向けのポータルサイトを立ち上げます（パソコンからも閲覧できます）。

○開始時期

平成28年3月(予定)

○主な掲載情報

- ・長岡市の子育て情報
- ・保育施設・空き情報
- ・子育て関連施設情報 など

5 タニタカフェ連携事業

食と健康の新たなスタイルを提案するタニタカフェ（長岡市多世代健康まちづくりプロジェクトの拠点）と連携し、子育てに役立つ長岡オリジナルの付加価値のある食を通じた学び・交流の場を提供します。

○開始時期

平成28年1月（予定）

○実施場所

ちびっこ広場（予定）

○主な内容

- ・乳幼児のための食事・おやつ講座
- ・妊婦や子育て中のママの食講座 など

6 補正予算額

68,269千円

(1) 子育ての駅整備関係

①施設整備費 23,840千円（改修等の建物整備にかかる費用）

②運営事業費 35,146千円（子育てコンシェルジュの配置、運営委託に係る費用）

(2) 情報発信関係

8,500千円

(3) タニタカフェ連携事業関係

783千円

※上記事業について、地方創生に係る上乗せ交付金50,000千円を現在申請中。

〔 問い合わせ：子ども家庭課 電話39-2300 〕

子育ての駅の概要

1 子育ての駅が生まれた経緯

以前から、冬でも子どもが外で遊ぶ場が少なく、「冬場や天候が悪い日でも、子どもたちを安心して遊ばせるスペースがほしい」という声が多く寄せられていました。

そこで、平成13年に、長岡市民センターのスペースを活用して「子育ての駅」の原型となる「ちびっこ広場」を開設したところ大変好評でした。

ちびっこ広場内に設置した「自由ノート」の中でも雪国長岡に住むお父さん、お母さんから、子どもをのびのびと遊ばせることのできる場を求める声がありました。

また、市民のニーズ調査を行ったところ、育児不安を抱える保護者が増えており、子育て相談や親同士の交流の場を求める声が多かったことから、このような市民の声をふまえ、気軽に集い交流できる場として、平成21年5月5日に、長岡オリジナルの保育士がいる公園「子育ての駅千秋てくてく」が誕生しました。



2 整備経過

平成13年10月	旧「ちびっこ広場」の開設（市民センター内）
平成21年5月	①子育ての駅千秋「てくてく」開設
平成22年4月	②子育ての駅ながおか市民防災センター「ぐんぐん」開設
平成22年8月	③子育ての駅ちびっこ広場開設（フェニックス大手ウエスト内移転）
平成24年7月	④子育ての駅とちお「すくすく」開設 （NPO法人子育て広場ふっくらに委託）
平成26年6月	ままのまカフェの実施（母子保健推進員を交えて交流する場）
平成27年4月	子育ての駅ながおか市民防災センター「ぐんぐん」運営委託 （NPO法人多世代交流館になニーナに委託）
平成27年4月	子育てコンシェルジュ配置

